

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年5月1日

事業所名 フォレストキッズ池田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75%	0%	・活動の場所を活動によって決めている。 ・フロア2名、個室1名と環境を整えている。	
	2	職員の配置数は適切である	0%	100%	・人員配置的には基準の人員を満たしている。	・支援の質を高めるため、職員採用を検討している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	75%	0%	・仕切りや視覚支援などで構造化している。 ・机上、運動、セレクトと3つの活動を分けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・空気清浄機と換気扇を使用し、空気を巡回している。 ・加湿を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	75%	25%	・職員MTで支援確認や業務についての話しを行っている。	・全職員が意識できるように、会議録の閲覧を促していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	50%	50%	・フィードバックや保護者様とのやり取りを丁寧に行えるよう心がけている。	・今後は、教室独自のアンケート等を作成し事業改善につなげていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	25%	75%	・日々、保護者様よりご指摘頂いたことに対応を心がけている。	・今回、1回目の自己評価を行いました。今回の結果を踏まえて改善内容をホームページに公開する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		・今年度は、第三者評価について詳しく調べ実施に繋がる準備を行う。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・外部研修への参加や事業所内研修を実施しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・全職員で、ニーズ整理MT&検討会議を行い作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・アセスメントと言語や食事に関するアンケートも実施しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・支援計画の見直しを行う、令和6年1月以降の計画書より具体的な支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・職員MTを行い、共通認識を持って支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	職員間のフィードバックを行い、プログラムを計画している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・専門性の異なる職員が関わっている。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・令和6年1月より、5領域を取り入れた計画を作成し、個別と小集団を組み合わせ支援している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・業務改善を行い、打ち合わせ時間の確保を行っている。	・役割分担については、その場での臨機応変な対応も出来るようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・業務改善を行い、打ち合わせ時間の確保を行っている。	・質問や共有事項の報告を簡潔にすることで、業務の効率化も目指している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・記録をとれるように業務改善を行った。	・記録や業務の不備が内容、職員間での声の掛け合いを心がけている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・定期的なモニタリングを行っている。	・ご家庭の事情でモニタリング日程の調整が難しい場合は、電話やZOOMなどで行うことを検討している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・児童発達支援管理責任者や支援を行っている保育士のどちらかは必ず参画している。	・現状は問題はないが、今後の事を考え、人員を増やし、支援時に人員不足なく、担当者会議に参加できる仕組みを作る。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・市の発達支援課との連携を取らせて頂いている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	0%		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	0%		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・ご要望に応じて、対応できる環境は整えている。	・未就園児の利用が少ない状況なので、未就園児のご利用を繋げていく。親子教室や、進路相談会等の開催を検討していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	50%	50%	・必要に応じて、対応できる環境は整えている。	・地域での事業所周知を高め、連携の取りやすい形作りを行う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	0%	・同系列の事業所のSVIに来ていただき、助言や研修を受けている。	・地域の専門機関との連携も行っていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		・限られた個別療育に時間での交流は難しさを感じている。交流できるようなイベントなどを検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	50%	50%	・地域の参加可能な会議などに、参加するよう努めている。	・地域での部会や会合情報を定期的に調べる。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・支援後は、必ずフィードバックを行い、共通理解に努めている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	50%	50%	・フィードバック時に、助言なども行っている。	・ペアレントトレーニング等の勉強会の開催を検討する。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時に、説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	・支援内容について確認し、同意の署名ももらっている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・定期的なモニタリングを行っている。 ・保護者様からご相談にも適宜、応じている。	・お悩みや相談に適切に適切に応じていけるよう、定期的な相談会等を行える体制を作り、お便りなどで発信を行う。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		・保護者様の交流会を企画、検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・ニーズに応じて、迅速に対応を行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月、フォレストメールと称したお便りを配布している。	・今後は、行事予定も掲載する。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・施錠して保管している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	75%	0%	・視覚的ツールを取り入れる等、分かりやすく伝える工夫を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		・地域に根付いた支援を行っていただけるように、地域との関りや交流の場を作る。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・各マニュアルを策定し、訓練を定期的に行っている。	・マニュアル冊子を見学室に置く等、周知に繋がる工夫を行う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・定期的な訓練を行っている。	・見学されている保護者様も参加して頂く訓練も行う。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・服薬について、契約時に確認している。	・服薬の必要がある場合、事前確認を利用時には必ず行う。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50%	50%	・契約時に、アレルギーについての確認を行っている。	・アレルギー対応が必要な方には、医師の指示書等に基づいた対応の記載をお願いする。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・ヒヤリハットのファイルを作成している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・研修や委員会を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	・契約時に説明し、同意書を得ている。計画書への記載と行った際の状況や内容の記録を行っている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。